

令和7年3月6日
(資料提供)

(事務担当) 所属名：農林総合研究センター 農業試験場 総合研究部 病害虫防除室 直通：257-6972

令和6年度病害虫発生予報第8号について

今後発生が予想される水稻、麦類、果樹、野菜の病害虫の発生量や防除上の注意事項について掲載します。

- 1 予報期間 3月上旬～4月中旬
- 2 予報内容

水 稻

ばか苗病、もみ枯細菌病(苗腐敗症)、褐条病、苗立枯細菌病の発生は、**平年並**と予想される。種子や育苗資材の消毒と播種時の防除を徹底する。種子予措から育苗期間中の温度管理、水管理を適正に行う。

なお、育苗にため池や河川水を利用する場合は、苗立枯細菌病の発生に留意する。

麦 類

オオムギうどんこ病、雲形病、赤かび病の発生は、**やや多**と予想される。発生が認められたほ場では、随時防除を実施する。

果 樹

ナシ黒星病の発生は、**多**と予想される。一次感染期である発芽後～5月下旬までの防除を徹底する。

カキ炭疽病の発生は、**多**と予想される。罹病枝は発生源となるので直ちに切り、ほ場から除去する。休眠期の防除を徹底する。

野菜・花き

タマネギべと病の発生は、**やや多**と予想される。早生種の発病に注意し、初期の防除を徹底する。

トマトキバガの発生は**多**と予想される。発生を認めたらすぐに防除を行う。

※病害虫防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。